

礼 拜 順 序

前	奏		司 式
招	詞	詩編100:1-3	奏 楽
讃	美 歌	こどもさんびか60	
交	読 文	こどもこうどくぶん1	
(書	新約 マルコ 2:13-17 (p. 64 or 74)	
祈	禱		
讃	美 歌	こどもさんびか45	
信	仰 告 白	使徒信条(566)	
説	教	「イエスの招き」	秋吉隆雄牧師
祈	禱		
讃	美 歌	こどもさんびか53	
聖	餐 式	(II237) 配餐当番	
献	金	こどもさんびか17	
主	の 祈	(564)	
頌	栄 禱	こどもさんびか15	
祝	禱		
後	奏		
報	告		

一 次 週 礼 拜 一
 説 教 「隠された宝
 一命を捜し給う神一」
 聖 書 マタイ18:10-14
 讃美歌 試用版75 122
 354
 交読文 交読詩編46

一 報 告 と お 願 い 一
 次主日は、ブラジルで宣教活動
 をしておられる堀江節郎神父が見
 えて説教をさせていただきます。
 礼拝後、伝道委員会、定例役員
 会をいたします。

1994年度役員選挙の立候補
 推薦を16日(日)までに選挙管
 理委員
 までお申してください。

一 今 週 の 誕 生 者 一

一 集 会 状 況 一

	男	女	計
イブ賛美礼拝12/24	50	99	159
主 日 礼 拜12/26	25	63	88
教 会 学 校12/26	6	10	16

成 人 科12/26 1 2 3
 青年会クリスマス12/26 9 7 16

一 中 ・ 高 科 次 週 当 番 一
 聖 書 マタイ18:10-14
 讃美歌 121 354
 交読文 交読詩編113
 司 会
 説 教 秋吉隆雄牧師
 奏 楽
 献 金

一 牧 師 室 か ら 一
 今年の年賀状を次のように書き
 ました。「新年おめでとうございます。
 『主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。あなたがたの広い心をすべて

の人に知られるようになさい。主はすぐ近くにおられます。』

『漠然とした不安』ではなく、この時代は『はっきりした不安』がありますが、主が共におられますから喜んで生きられます。終末的な肯定は、悲観的な否定より信仰的で、新しい創造に関与できるでしょう。私たち夫婦は二人暮りで、言い合いしながら、この年も教会形成に与えられることを喜びたいと思っています。

あなたのこの年の歩みの上に主の豊かな祝福を祈ります。」

冒頭の聖句はパウロのフィリピ書の一節です。フィリピ教会は獄中にあるパウロを案じ、贈物を贈りました。その返礼にフィリピ書が書かれたのです。獄中にありながらパウロは「喜ぶ」ことを繰り返し語っています。それはただ「主がすぐ近くにおられます」という終末信仰があったからです。

新年を迎えましたが、希望より不安の方がはるかに多いのではないのでしょうか。「政治改革、コメ問題、不況」と昨年積み残しの問題は山積しています。中でも

人々の生活にとって直接的な不況問題は世相に大きな暗い陰を落して始めています。この年、明るい未来を期待している人は少ないでしょう。しかし、私は期待したいと思います。豊かの追及は決して人生を充実させない。むしろ競争原理の中で心が荒み、疲労感だけが残りました。今こそ静まって「人間とは何なのか。社会はどうあるべきなのか」を考える絶好の時です。価値基準を「豊かさ」から転じるのが求められています。聖書の民は七日目の安息日には、どんなに貧しくとも、戦争中でさえも世事から離れ神への礼拝に集中しました。それが人間回復の原点と考えたからです。

十字架と復活において、人間の罪を赦し、神にあって「生きよ」と宣言されたイエス・キリストはいつも私たちと共にいてくださいます。共にいてくださるイエス・キリストの事実から不安の中でもなお「喜ぶ」者とされています。斜めから見た人間的な悲観論や楽観論でなく、神の肯定から出発しましょう。

週 報

1994年1月2日 降誕節第2主日

新年合同礼拝

巻14 40号

1993年度教会主題

「キリストが私たちの内に形づくられる」

聖句 二人は言った。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたも家族も救われます。」そして、看守とその家の人たち全部に主の言葉を語った。

使徒言行録 16章31節～32節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 教会の組織を再検討し、キリストの体を作る。
 3. 家族こぞって主イエスを賛美する。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323 振替 横浜 9-13994

牧師 秋 吉 隆 雄

牧師宅 電話 045-833-6616